

野村克也氏講演

凡人の強み



京都府立峰山高校を卒業し、1954年にテスト生として南海ホークスに入団。3年目の1956年からレギュラーに定着すると、現役27年間にわたり球界を代表する捕手として活躍。歴代2位の通算657本塁打、戦後初の三冠王などその強打で数々の記録を打ち立て、不動の正捕手として南海の黄金時代を支えた。「ささやき戦術」や投手のクイックモーションの導入など、駆け引きに優れ工夫を欠かさない野球スタイルは現在まで語り継がれる。また、70年の南海でのプレイングマネージャー就任以降、延べ四球団で監督を歴任。他球団で挫折した選手を見事に立ち直らせ、チームの中心選手に育て上げる手腕は、「野村再生工場」と呼ばれ、ヤクルトでは「ID野球」で黄金期を築き、楽天では球団初のクライマックスシリーズ出場を果たすなど輝かしい功績を残した。インタビュー等でみせる独特の発言はボヤキ節と呼ばれ、その言葉はノムラ語録として多くの書籍等で野球ファン以外にも広く親しまれている。スーパースターであった王・長嶋と比較して、自らを「月見草」に例えた言葉は有名である。現在は野球解説者としても活躍。【野村克也オフィシャルサイトより引用】

11月20日(火) 18時00分開演
@大磯プリンスホテル



星槎グループ主催 (入場無料)

問合せ: 0463-71-6046 (桑原 角木)

「彼らはいつも人の目の前で華々しい
野球をやり、こっちは人の目にふれない
ところで寂しく野球をやってきた。」

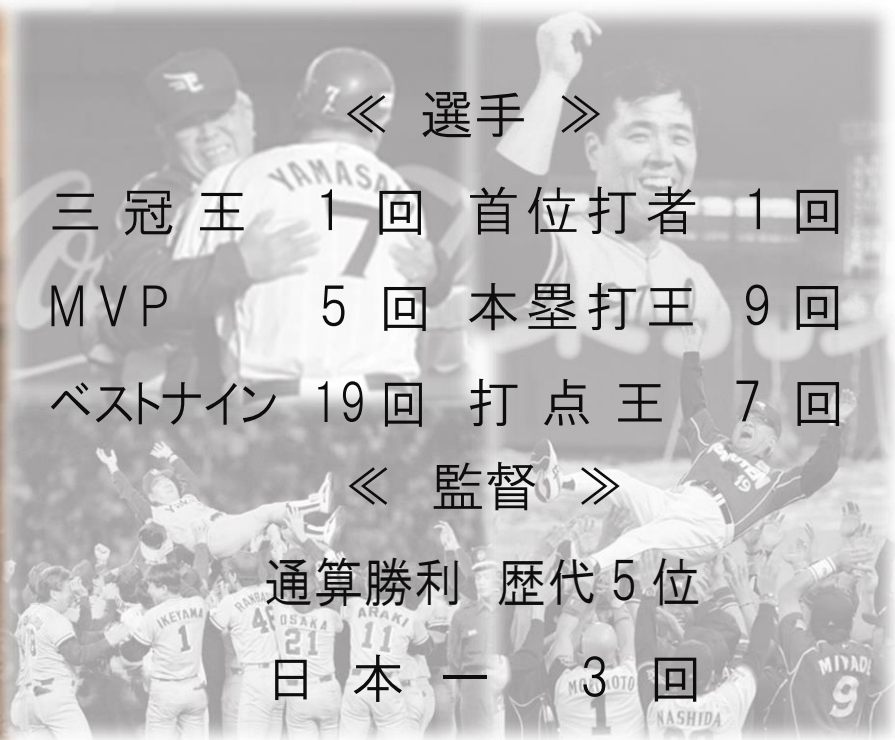
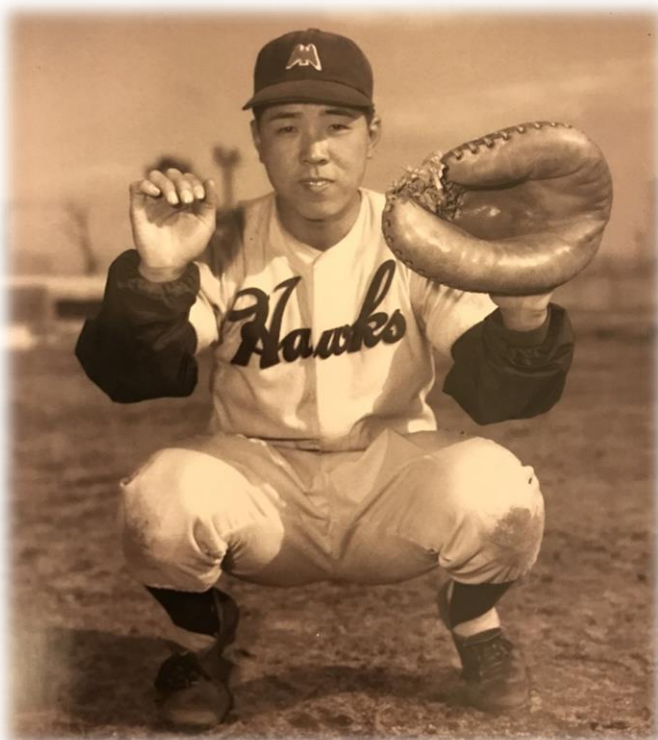
花の中にはヒマワリもあれば、

人目につかないところでひっそりと咲く
月見草だってある。

王や長嶋はヒマワリ。それに比べれば、
私なんかは日本海の海辺に咲く月見草だ。

自己満足かもしれないが、そういう花も
あっていいと思ってきた」

野村克也



《 選手 》

三冠王	1回	首位打者	1回
MVP	5回	本塁打王	9回
ベストナイン	19回	打点王	7回

《 監督 》

通算勝利	歴代5位
日本一	3回